

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5111 日本の文化と文学2			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜3限				
教室	H302教室				
代表教員	稲葉 有祐				
担当教員	稲葉 有祐				
テーマと到達目標	近世期の「怪異」・「悲劇」・「奇談」をテーマの中心として講義をします。人の心を幻惑する不思議・不安・恐怖、人の心が生み出した闇、愛憎。これらを文学がいかにかに表象・表現してきたか、井原西鶴の浮世草子から考えていきます。作品を読み解くことにより、近世期の特質・共通認識に関する知識を獲得し、文化と文学の繋がりを理解できるようになることを目標とします。				
概要	井原西鶴の浮世草子は、元禄当時の風俗や人情の諸相を描いた斬新な小説として高い評価を与えられています。本授業では、その浮世草子の中でも『西鶴諸国ばなし』・『本朝二十不孝』・『懐硯』・『本朝桜陰比事』・『万の文反古』から怪談・奇談に属する話を取り上げて講義をします。異界・狐狸の怪異、少女の心の闇、殺人の裏側、「死ぬ」ことのできぬ恐怖など、西鶴の描く作品群の先に潜むものは一体何なのでしょう。各作品を読み解いていくことで、西鶴の人間に対する視線も垣間見えてきます。毎時の課題・コメントは授業内でフィードバックし、問題点を共有していきますので、積極的に参加してください。期末にはレポートを予定しています。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	西鶴と浮世草子				対面授業
第2回	『西鶴諸国ばなし』巻2の5「夢路の風車」を読み解く				対面授業
第3回	『西鶴諸国ばなし』巻3の4「紫女」を読み解く				対面授業
第4回	『西鶴諸国ばなし』巻4の2「忍び扇の長唄」を読み解く				対面授業
第5回	『本朝二十不孝』巻2の2「旅行の暮れの僧にて候」を読み解く				対面授業
第6回	『本朝二十不孝』巻3の1「娘盛りの散り桜」を読み解く				対面授業
第7回	『本朝二十不孝』巻4の2「枕に残す筆の先」を読み解く				対面授業
第8回	『懐硯』巻1の2「照を取る屋舟の中」を読み解く				対面授業
第9回	『懐硯』巻3の5「誰かは住し荒屋敷」を読み解く				対面授業
第10回	『懐硯』巻4の4「人真似は猿の行水」を読み解く				対面授業
第11回	『懐硯』巻5の1「面影の似せ男」を読み解く				対面授業
第12回	『本朝桜陰比事』巻2の1「十夜の半弓」を読み解く				対面授業
第13回	『本朝桜陰比事』巻4の9「大事を聞き出だす琵琶の音」を読み解く				対面授業
第14回	『万の文反古』巻3の3「代筆は浮世の闇」を読み解く				対面授業
第15回	『万の文反古』巻5の2「二膳据ゑる旅の面影」を読み解く				対面授業
成績評価の基準	授業時に指示する課題 (50%) 期末レポート (50%)				
履修にあたっての留意事項	「日本の文化と文学1」(前期) と合わせて履修することを勧めます。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	西鶴研究会『西鶴が語る江戸のミステリー―怪談・奇談集』（ペリかん社、2004年） その他、プリントを配付します。受講にあたっては教科書・授業資料をよく読み、問題点を整理しておいてください（予習復習・60分）。	教科書(ISBN)	978-4831510754
参考文献	授業時に適宜指示します。	参考文献(ISBN)	